

交通関連企業景気動向調査（平成14年3月1日時点）結果

～景況感、更に下降～

1. 調査の概要

（1）目的

交通関連企業における景況感、経営動向を把握する。

（2）対象業種・事業者数

- ・貨物、旅客、その他全計16業種
- ・調査対象414社、有効回答303社（有効回答率73.2%）

（3）調査時点

平成14年3月1日現在

2. 調査結果の要旨

（1）景況感〔最近の景況感D I = -83.8、14年度の景況感見通しD I = -40.2〕

- ・最近の景況感D Iは、平成13年3月調査（以下前年調査）で2年半ぶりに下降に転じ、平成13年9月調査（以下前回調査）で大幅に下降し、今回の調査ではさらに下降（D I = -79.9 -83.8）
- ・前回調査に引き続き、今回調査でも全ての業種においてD Iがマイナスになった。
- ・14年度の景況感見通しは51.4%の事業者が「悪くなる」とみている（「良くなる」11.1%）。D Iは前年調査に比べて悪くなっているものの、航空運送業、登録ホテル業のD Iはプラスとなっている（D I = -25.9 -40.2）

（2）売上高〔13年度の12年度対比売上高D I = -52.4、14年度の売上高見通しD I = -39.2〕

- ・13年度の売上高は68.6%の事業者が12年度に対し「悪化する」と回答。D Iも前年調査に比べ大幅に下降（-22.4 -52.4）
- ・14年度の売上高見通しは、13年度に対し56.4%の事業者が「悪化する」と回答。D Iも前年調査に比べ大幅に下降（-16.1 -39.2）

（3）経常収支〔14年度の経常収支見通しD I = -25.0〕

- ・14年度の経常収支見通しは、13年度に対し50.3%の事業者が「悪化する」と回答。D Iも前年調査に比べ大幅に下降（-13.9 -25.0）
- ・業種により格差が大きい。

（4）雇用状況〔人手不足感D I = -3.0、採用者数D I = -1.7〕

- ・前回調査より人手不足から人手過剰へと移行し、そのまま推移（D I = -0.3 -3.0）
- ・採用者数は前年調査に比べ「増加させる」とする事業者が増加（D I = -26.3 -1.7）

（注）D I = 「良い（改善）、人手不足、増加、楽、ゆるい」と回答した事業者の割合
- 「悪い（悪化）、人手過剰、減少、苦しい、厳しい」と回答した事業者の割合

2. 調査結果の要旨

(1) 景況感

調査時点(平成14年3月1日)の景況感DI = -83.8

交通関連業界の景況感は、DIでみると、前回調査(平成13年9月1日時点、以下同じ)に続きさらに下降している(DI = -79.9 -83.8)。また、有効回答事業者(以下「事業者」という。)数でみると、「良い」と感じている事業者は2.0%に対し、85.8%の事業者が「悪い」と感じており、「悪い」とみる事業者の方が圧倒的に多い。

前年調査(平成13年3月1日時点、以下同じ)まで、航空運送業、外航海運、旅行業がDIでプラスを保っていたが、前回調査に引き続き今回調査では全ての業種においてマイナスになった。さらに、フェリーは全事業者が「悪い」と回答しておりDI値が-100になるとともに、旅客船、ハイヤー・タクシー、航空運送業が-90を下回る結果となっている。

最近の景況感

部門 業種		良い	悪い	DI	前回調査との差	前回(13.9)DI	前年(13.3)DI
全体		2.0	85.8	-83.8	-3.9	-79.9	-59.6
	貨物部門	0.8	89.1	-88.3	-9.1	-79.2	-55.7
	旅客部門	3.4	82.8	-79.3	1.1	-80.4	-62.1
	その他	0.0	87.0	-87.0	-6.2	-80.8	-62.5
貨物	外航海運(19)	0.0	89.5	-89.5	-24.5	-65.0	19.0
	内航海運(17)	0.0	88.2	-88.2	-6.4	-81.8	-55.6
	フェリー(14)	0.0	100.0	-100.0	-5.6	-94.4	-73.9
	倉庫(29)	3.4	86.2	-82.8	-11.8	-71.0	-66.7
	港湾運送(23)	0.0	87.0	-87.0	-2.3	-84.6	-71.4
	トラック(26)	0.0	88.5	-88.5	-7.2	-81.3	-65.6
旅客	旅客船(13)	0.0	92.3	-92.3	-18.6	-73.7	-90.0
	JR(6)	0.0	50.0	-50.0	0.0	-50.0	-42.9
	民鉄旅客(26)	0.0	73.1	-73.1	-2.7	-70.4	-60.7
	乗合バス(29)	3.4	82.8	-79.3	20.7	-100.0	-100.0
	ハイヤー・タクシー(32)	3.1	93.8	-90.6	6.3	-97.0	-82.9
	航空運送業(12)	0.0	91.7	-91.7	-25.0	-66.7	50.0
	登録ホテル(27)	11.1	77.8	-66.7	-4.2	-62.5	-54.8
	旅行業(4)	25.0	50.0	-25.0	25.0	-50.0	3.7
その他	造船(23)	0.0	87.0	-87.0	-6.2	-80.8	-70.4
	自動車整備(3)	0.0	33.3	-33.3	66.7	-100.0	-53.8

(注) 1. ()内は回答事業者数

2. 前回(13.9)DIは、13年9月調査時点での「最近の景況感」
前年(13.3)DIは、13年3月調査時点での「最近の景況感」

14年度の景況感見通しDI = -40.2

14年度の13年度に対する景況感見通しは、前年調査からDI値で14.3ポイント下回り、-40.2になった。

また、事業者数で見ると「悪くなる」と感じている事業者は51.4%と、約半数の事業者が悪化を予想している。

業種別にみると、航空運送業、登録ホテルがDIでプラスとなっており「良くなる」と感じている事業者が多い。

14年度の景況感見通し

部門 業種		良くなる	悪くなる	DI	前年調査との差	前年(13.3)DI
全 体		11.1	51.4	-40.2	-14.3	-25.9
	貨 物 部 門	10.9	54.7	-43.8	-15.0	-28.7
	旅 客 部 門	11.7	49.0	-37.2	-18.1	-19.2
	そ の 他	8.7	47.8	-39.1	-0.1	-39.1
貨 物	外航海運(19)	21.1	47.4	-26.3	-7.3	-19.0
	内航海運(17)	17.6	64.7	-47.1	-6.3	-40.7
	フェリー(14)	0.0	57.1	-57.1	-18.0	-39.1
	倉庫(29)	10.3	55.2	-44.8	-14.3	-30.6
	港湾運送(23)	8.7	56.5	-47.8	-8.5	-39.3
	トラック(26)	7.7	50.0	-42.3	-36.1	-6.3
	旅 客	旅客船(13)	0.0	38.5	-38.5	-3.5
JR(6)		16.7	66.7	-50.0	-64.3	14.3
民鉄旅客(26)		3.8	30.8	-26.9	2.7	-29.6
乗合バス(29)		3.4	72.4	-69.0	-1.5	-67.5
ハイヤー・タクシー(32)		3.1	71.9	-68.8	-25.9	-42.9
航空運送業(12)		41.7	25.0	16.7	16.7	0.0
登録ホテル(27)		29.6	25.9	3.7	-15.7	19.4
旅行業(4)		0.0	75.0	-75.0	-123.1	48.1
そ の 他	造船(23)	8.7	47.8	-39.1	-24.3	-14.8
	自動車整備(3)	33.3	33.3	0.0	57.7	-57.7

(注) 前年(13.3)DIは、13年3月調査時点での「13年度の景況感が12年度に対して改善(悪化)するのかわりに「見直し」の見方」

(2) 売上高

13年度の前年度(12年度)対比売上高DI = -52.4

13年度の前年度(12年度)に対する売上高は、前回調査からDI値で-7.6ポイント下回り、-52.4になった。

業種別にみると、全ての業種においてDIがマイナスとなっている。

また、事業者数でみると、自動車整備で全ての事業者、乗合バスで3.4%、ハイヤー・タクシーで6.3%の事業者しか13年度の売上高が改善すると考えておらず、苦しい状況にある。

13年度の12年度対比売上高

部門 業種		改善	悪化	DI	前回調査との差	前回(13.9)DI	前年(13.3)DI
全体		16.2	68.6	-52.4	-7.6	-44.7	-22.4
	貨物部門	18.0	68.0	-50.0	-16.4	-33.6	5.4
	旅客部門	13.1	73.8	-60.7	-3.1	-57.6	-44.1
	その他	26.1	39.1	-13.0	17.7	-30.8	-28.1
貨物	外航海運(19)	31.6	47.4	-15.8	14.2	-30.0	52.4
	内航海運(17)	23.5	70.6	-47.1	-28.9	-18.2	25.9
	フェリー(14)	7.1	78.6	-71.4	-15.9	-55.6	-43.5
	倉庫(29)	27.6	62.1	-34.5	-18.4	-16.1	-16.7
	港湾運送(23)	8.7	73.9	-65.2	-11.4	-53.8	18.5
	トラック(26)	7.7	76.9	-69.2	-34.9	-34.4	6.3
旅客	旅客船(13)	15.4	61.5	-46.2	1.2	-47.4	-75.0
	JR(6)	33.3	50.0	-16.7	0.0	-16.7	-42.9
	民鉄旅客(26)	15.4	65.4	-50.0	-1.9	-48.1	-32.1
	乗合バス(29)	3.4	89.7	-86.2	-0.9	-85.3	-78.0
	ハイヤー・タクシー(32)	6.3	87.5	-81.3	0.6	-81.8	-82.9
	航空運送業(12)	25.0	58.3	-33.3	-20.0	-13.3	66.7
	登録ホテル(27)	18.5	66.7	-48.1	-6.5	-41.7	-35.5
	旅行業(4)	25.0	50.0	-25.0	-25.0	0.0	33.3
その他	造船(23)	26.1	39.1	-13.0	17.7	-30.8	-25.9
	自動車整備(3)	0.0	33.3	-33.3	-33.3	0.0	-38.5

(注) 1. 前回(13.9)DIは、13年9月調査時点での「13年度下半期売上高が13年度上半期に対して改善(悪化)するかの見方」

2. 前年(13.3)DIは、13年3月調査時点での「13年度売上高が12年度に対して改善(悪化)するかの見方」

14年度の13年度対比売上高見通しD I = -39.2

14年度の13年度に対する売上高見通しについては、前年調査からD I値で23.1ポイント下回り、-39.2になった。

業種別にみると、航空運送業、登録ホテルがD Iでプラスとなっている。

また、事業者数でみると、JR、旅行業、自動車整備業においては、「改善する」と見込む事業者は一社もない。

14年度の13年度対比売上高見通し

部門 業種		改善	悪化	DI	前年調査との差	前年(13)DI
全体		17.2	56.4	-39.2	-23.1	-16.1
	貨物部門	14.1	61.7	-47.7	-39.1	-8.6
	旅客部門	17.9	55.9	-37.9	-14.4	-23.6
	その他	30.4	30.4	0.0	12.7	-12.7
貨物	外航海運(19)	21.1	47.4	-26.3	2.3	-28.6
	内航海運(17)	17.6	64.7	-47.1	-35.5	-11.5
	フェリー(14)	7.1	64.3	-57.1	-39.0	-18.2
	倉庫(29)	13.8	62.1	-48.3	-36.8	-11.4
	港湾運送(23)	8.7	73.9	-65.2	-58.1	-7.1
	トラック(26)	15.4	57.7	-42.3	-58.4	16.1
旅客	旅客船(13)	7.7	23.1	-15.4	9.6	-25.0
	JR(6)	0.0	50.0	-50.0	-50.0	0.0
	民鉄旅客(26)	15.4	53.8	-38.5	9.5	-48.0
	乗合バス(29)	6.9	79.3	-72.4	7.6	-80.0
	ハイヤー・タクシー(32)	3.1	84.4	-81.3	-35.5	-45.7
	航空運送業(12)	50.0	16.7	33.3	0.0	33.3
	登録ホテル(27)	44.4	33.3	11.1	-14.7	25.8
	旅行業(4)	0.0	50.0	-50.0	-87.0	37.0
その他	造船(23)	30.4	30.4	0.0	11.5	-11.5
	自動車整備(3)	0.0	66.6	-66.6	-47.4	-19.2

(注) 前年(13.3)DIは、13年3月調査時点での「13年度の売上高が12年度に対して改善(悪化)するのかわりに」の見方

翌年度（14年度）の当年度（13年度）対比経常収支見通しDI = -25.0

翌年度（14年度）の当年度（13年度）対比経常収支見通しについては、造船、フェリー、内航海運において、DI値が前年調査に比べ改善傾向にあるが、業種による格差が大きい。

業種別に見ると、フェリーのDI値がマイナスからプラスに転じるとともに（DI = -22.7 7.1）、JR、登録ホテルがプラスを維持している。

一方、旅行業についてはDI値がプラスからマイナスに転じた（DI = 25.9 -50.0）。

14年度の13年度対比経常収支見通し

部門 業種		改善	悪化	DI	前年調査との差	前年(13)DI
全体		25.3	50.3	-25.0	-11.1	-13.9
	貨物部門	25.8	50.0	-24.2	-5.8	-18.4
	旅客部門	23.4	51.7	-28.3	-25.7	-2.6
	その他	34.8	43.5	-8.7	27.8	-36.5
貨物	外航海運(19)	26.3	31.6	-5.3	9.0	-14.3
	内航海運(17)	29.4	47.1	-17.6	17.0	-34.6
	フェリー(14)	50.0	42.9	7.1	29.9	-22.7
	倉庫(29)	13.8	65.5	-51.7	-28.9	-22.9
	港湾運送(23)	13.0	60.9	-47.8	-30.0	-17.9
	トラック(26)	34.6	42.3	-7.7	-7.7	0.0
旅客	旅客船(13)	23.1	23.1	0.0	-20.0	20.0
	JR(6)	66.7	16.7	50.0	-7.1	57.1
	民鉄旅客(26)	11.5	42.3	-30.8	-10.8	-20.0
	乗合バス(29)	17.2	69.0	-51.7	-21.7	-30.0
	ハイヤー・タクシー(32)	3.1	84.4	-81.3	-29.8	-51.4
	航空運送業(12)	50.0	50.0	0.0	-50.0	50.0
	登録ホテル(27)	44.4	25.9	18.5	-20.2	38.7
	旅行業(4)	0.0	50.0	-50.0	-75.9	25.9
その他	造船(23)	34.8	43.5	-8.7	37.5	-46.2
	自動車整備(3)	0.0	66.6	-66.6	-47.4	-19.2

(注) 前年(13.3)DIは、13年3月調査時点での「13年度の売上高が12年度期に対して改善(悪化)するかの見方」

(3) 雇用状況

人手不足感DI = -3.0

人手不足感は、前回調査からDI値が再びマイナスへ移行し、そのまま推移している。

業種別にみると、JR、旅行業、自動車整備で人手不足と感じている事業者は一社もない。(DI = -66.7、-25.0、-33.3)

一方、外航海運、乗合バス、ハイヤー・タクシー、登録ホテルでは人手不足と感じている事業者が多い(DI = 5.3、37.9、62.5、25.9)

人手不足感

部門 業種		不足	過剰	DI	前年調査との差	前回(13.9)DI	前年(13.3)DI
全体		24.3	27.4	-3.0	-2.7	-0.3	4.9
	貨物部門	10.9	32.0	-21.1	-7.0	-14.1	-2.4
	旅客部門	37.9	22.8	15.2	-1.3	16.5	17.4
	その他	13.0	30.4	-17.4	5.7	-23.1	-14.1
貨物	外航海運(19)	21.1	15.8	5.3	25.3	-20.0	-9.5
	内航海運(17)	5.9	58.8	-52.9	-34.8	-18.2	-7.4
	フェリー(14)	14.3	14.3	0.0	11.1	-11.1	-8.7
	倉庫(29)	13.8	34.5	-20.7	-17.5	-3.2	2.8
	港湾運送(23)	4.3	26.1	-21.7	-6.4	-15.4	-7.1
	トラック(26)	7.7	38.5	-30.8	-12.0	-18.8	9.4
旅客	旅客船(13)	15.4	30.8	-15.4	-20.6	5.3	15.0
	JR(6)	0.0	66.7	-66.7	-16.7	-50.0	-71.4
	民鉄旅客(26)	11.5	38.5	-26.9	-1.0	-25.9	-28.6
	乗合バス(29)	44.8	6.9	37.9	32.0	5.9	4.9
	ハイヤー・タクシー(32)	81.3	18.8	62.5	-13.3	75.8	74.3
	航空運送業(12)	8.3	33.3	-25.0	-18.3	-6.7	0.0
	登録ホテル(27)	37.0	11.1	25.9	-11.6	37.5	29.0
	旅行業(4)	0.0	25.0	-25.0	-25.0	0.0	25.9
その他	造船(23)	13.0	30.4	-17.4	5.7	-23.1	-29.6
	自動車整備(3)	0.0	33.3	-33.3	-33.3	0.0	7.7

(注) 1. 前回(13.9)DIは、13年9月調査時点の「人手不足感」
 2. 前年(13.3)DIは、13年3月調査時点の「人手不足感」

採用者数 D I = -1.7

14 年度の採用者数は、前年調査に比べ D I のマイナス幅は大幅に縮小傾向にある (D I = -26.3 -1.7)

業種別にみると、外航海運、 J R、民鉄旅客において D I 値がマイナスからプラスに転じた (D I = -33.3 5.3、-57.1 33.3、-22.2 3.8)

一方、旅行業においては、 D I がプラスからマイナスに転じた (D I = 14.8 -100)

採用者数

部門 業種		増加	減少	D I	前年調査との差	前年(13.3) D I
全 体		16.2	17.9	-1.7	24.6	-26.3
	貨物部門	8.6	20.3	-11.7	16.0	-27.7
	旅客部門	21.4	17.9	3.4	24.2	-20.7
	その他	26.1	4.3	21.7	61.4	-39.7
貨物	外航海運(19)	15.8	10.5	5.3	38.6	-33.3
	内航海運(17)	11.8	29.4	-17.6	23.1	-40.7
	フェリー(14)	7.1	7.1	0.0	39.1	-39.1
	倉庫(29)	10.3	10.3	0.0	30.6	-30.6
	港湾運送(23)	4.3	17.4	-13.0	9.2	-22.2
	トラック(26)	3.8	42.3	-38.5	-32.2	-6.3
旅客	旅客船(13)	15.4	15.4	0.0	70.0	-70.0
	JR(6)	33.3	0.0	33.3	90.5	-57.1
	民鉄旅客(26)	23.1	19.2	3.8	26.1	-22.2
	乗合バス(29)	10.3	31.0	-20.7	34.3	-55.0
	ハイヤー・タクシー(32)	31.3	9.4	21.9	13.3	8.6
	航空運送業(12)	8.3	25.0	-16.7	0.0	-16.7
	登録ホテル(27)	25.9	14.8	11.1	11.1	0.0
	旅行業(4)	0.0	100.0	-100.0	-114.8	14.8
その他	造船(23)	26.1	4.3	21.7	77.3	-55.6
	自動車整備(3)	0.0	100.0	-100.0	-72.0	-28.0

(注) 前年 (13.3) D I は、13 年 3 月調査時点での「採用者数」



